

マカロニチップス、組子びょうぶ、人力車巡り…

地元企業の製品やサービスを観光資源としてPRするため、加茂商工会議所（太田明会頭）は、加茂の歴史や伝統文化が感じられる商品を「加茂オリ

ジナル推奨品」として認定する取り組みを始めた。第1弾として、地元産の果物を使った菓子や桐製品など23事業所の34品を認定した。

商議所が地元商品34品認定 観光振興、販路拡大に期待

市内の企業から商品を公募し、商議所諸業部会の



「加茂オリジナル推奨品」の一部＝加茂市の加茂商工会議所

加茂ブランドに太鼓判

役員らが「加茂らしさと独る。

自性があること」を基準に審査した。各企業の販路拡大や観光振興につなげるほか、魅力的な新商品の開発を後押しする狙いもある。推奨品は、和洋菓子や地酒を含む「食品」、桐製衣装箱や加茂縮の小物など「民芸品」、人力車でのまち巡りといった「体験」

の3種類。認定品に張ったり認定店に飾ったりする専用のロゴマークは、加茂を拠点に活動する書家・泉田佑子さんが手掛けた。

老舗菓子店のかりんとうや、「国産マカロニ発祥の地・加茂」にちなんだマカロニチップスのほか、組子びょうぶ、八角箸などがある。製品だけでなく、人力車で市内の名所を回ったり加茂川の近くでところてんを食べたりといった「体験」が含まれる点特徴だ。

審査会は今後も定期的に開催し、品数を増やしていくという。商議所の担当者は「加茂ならではの素晴らしい商品やサービスを地域ブランドとして発信し、地域活性化につなげていきたい」と期待を込める。

「推奨品」事業のスタートに合わせ、認定品の販売促進イベントが20、21の両日の午前10時～午後4時、加茂市本町の旧くしや店舗で開かれる。

問い合わせは加茂商工会議所、0256(52)1740。